

要領様式第2号

出張報告届

令和7年1月16日

吹田市議会議長 様

会 派 名 参 政 党

代表者氏名 久保直子

出張者氏名 久保直子

下記のとおり出張したので届け出ます。

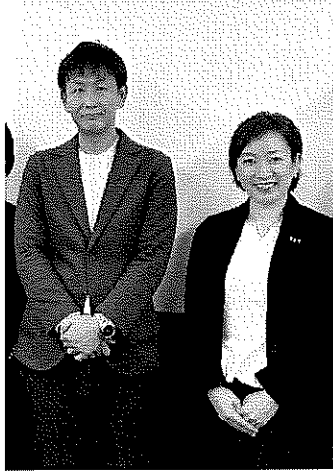


記

出張先	東京都新宿区西新宿7-21-3 リファレンス西新宿大京ビル
期間	令和7年1月15日から1月15日まで 1日間
出張の成果	別紙のとおり
備考	

報告書 「財政問題質問の仕方 2」

参政党 吹田市議会議員 久保直子



村山 祥栄講師

(元京都市議会議員)

令和7年1月15日(木)

リファレンス西新宿大京ビル2階会議室

(東京都西新宿区新宿7-21-3)

【講演要旨】

(1) 歳入を増やせ

① ふるさと納税

ポイント① 返礼品の点数。返礼品点数と納税額は相関関係

ポイント② 出したいものより、欲しいものを。消費者目線でラインナップを！

ふるさと納税の三種の神器と言われる「肉・カニ・※」

ポイント③ 還元率の高さ

ポイント④ ファンづくりを一緒に(東川町株主優待性)

ポイント⑤ コト消費・・・この3年間で体験型は約1.8倍、寄付件数は約1.6倍になった仲介サイトも

ポイント⑥ トキ消費・・・共に作り出すトキに参加したい モノ→コト→トキ

ポイント⑦ SDGS

ポイント⑧ 応援消費

ポイント⑨ 未来へ投資 ふるさと納税支援補助金

① 旅先でふるさと納税

1, 自販機

2, 旅先納税

② ふるさと納税の留意点

・自市の流出額を把握していますか？

・企業版ふるさと納税(人材派遣型)

② 脱!ハコモノの仕組み

○金を借りてモノを作る時代は終わった

ポイント① PPP と PFI

解説: PPP とは官民連携の事です。民間連携とは、行政と民間とが連携して、より効率的で質の高い行政サービスの提供を目指すという考え方 PFI は PPP を実現するための代表的な手法の一つ。

- ・パーク PFI
- ・運営だけでも民間へ（PFI コンセッション方式）
- ・民間活用維持管理手法（ネーミングライツ・民間の力でトイレを綺麗に）

○行政が施設を持たない時代に・・・海外では非所有手法は珍しくない

事例 1：施設借り上げ方式の事例

- 2：ファイナンス・リース方式
- 3：BOO 方式
- 4：民間サービスによる代替の事例
- 5：セール&リースバック方式

③遊休資産は民間活用で解決せよ！

○空き公共施設の積極活用

事例 1：千葉県大多喜町の旧老川小学校×良品計画

- 2：長南町の旧長南小学校×リングロー株式会社
- 3：勝浦市の旧清海小学校×株式会社バクチャー

○トライアルという手も

- ・民間の情報発信部門を活用すべし

1. はじめに

吹田市は、人口が増加している自治体であり、税収も増加しているが、より必要な所に予算が回せる様、財政問題を学びに行った。

特に興味を持ったのが、③遊休資産を民間活用で解決せよ！である。公共用地が売買されるに当たり、市民皆様から残念だという声をよく聞く。庁内で活用調査を行った後は売却されるのであれば、公用地は減り、市民の為に活かせる資産が減るばかり。そのような状況を解決し、市民の生活に有効に活かせる様にしたいと強く思った。

2. 本市の遊休地活用

本市の遊休地の実態調査を実施した。遊休地は、どう利活用され、どのような所が遊休資産になっているか調査した。そこで、旧南竹見台小学校の跡地に焦点を当てて2月定例会で個人質問する事にした。私の住む竹見台には多目的施設があり、子育てサロンなどの運営が為されており、私も我が子とお世話になったものである。しかし、耐震工事がされていない事を理由に、令和8年から解体工事がされる。それに伴い令和7年度より子育てサロンも佐竹台に移転される。施設内には、空き教室が点在し、調理できる教室も、体育館も、畑もあった。教室にはエアコン設置されている教室は、無料で貸し出しもされていると聞く。こちらが解体されるのは実に勿体ない。耐震工事をしたからといって、災害時に絶対壊れないという保証はないと聞く。

今後この多目的施設跡地を、地域の皆さんの意見を反映し、有効活用できる物にしていけるよう、見守っていきたいと考えている。

3, 2月定例会・個人質問「遊休資産の活用について」(案)

○遊休資産の活用について

・令和7年4月より、「重層的地域体制整備事業」が策定され、今後の展開に期待を寄せている所でございます。本事業についての概要をお聞かせください。(答弁)

・先日、「地域福祉市民フォーラム」に参加した際、場所と人材と予算があればこれまで以上に地域共生社会の実現を進めていけるのだと理解しました。その場所としまして、本市の遊休資産活用の可能性について質問致します。本市の遊休資産についての方針・活用事例・課題をお聞かせください。(答弁)

・令和8年より解体工事が始まる竹見台多目的施設は、南竹見台小学校閉校後はどのような利用状況であったのかお聞かせください。(答弁)

・私も、子育て広場だけのつこではお世話になり大変感謝していますが、他の空き教室や体育館などの遊休資産を「定期借家」として、シェアオフィスやイベント会場等でさらに有効活用できたのではないかと考えます。遊休資産を民間活用で解決している事例は全国的にあり、空き公共施設の積極活用により、地域に活力が生まれているようです。即ち、民間の情報発信部門を活用し、広く情報周知を進める手段を確保する事で、企業や福祉施設を誘致し、有給地にする事ができるのです。解体後の跡地は、どのように活用する計画でしょうか。(答弁)

解体後の跡地は、地域住民が小規模な農園や庭として運営する「コミュニティガーデン」として活用する事を提案します。竹見台の近隣(桃山台・津雲台等)の住民が共に作物を育てたり庭の手入れをしたり「共同作業」をすることで多世代のコミュニティの絆が深まりますし、少子高齢化が進む中、生きがいや癒しの場になる事でしょう。千里竹見台小学校と隣接している点を利点と捉え、「教育の場」として、園芸や持続可能な生活について、子供達と共に学ぶ機会を提供する事も出来ます。子供達が土と触れ合い、食育の一環として地域住民と交流する事は、竹見台に愛着を感じ、地域の為に貢献したいと思える心を育み、次世代のまち作りへと発展していく事でしょう。更に、「健康への影響」として、ガーデニングは身体活動の一つであり、精神的な健康にも良い影響を与えます。自分で育てた新鮮な野菜を食べる事で健康的な食生活を推進でき、膨大する医療費を抑える事に繋がる事でしょう。最後に「環境への影響」として、吹田市のような都市部で緑地を増やすことで、ヒートアイランド現象の緩和や生物多様性の保護に役立ちます。市長、教育長のご見解を求めます。(答弁)

解体工事終了まで3年ございますが、南竹見台小学校跡地を有効に活用できる様、ぜひ、住民の皆さんと共に創る町づくりの実現・計画を求めます。

4, 終わりに

「財政問題質問の仕方2」の勉強会に参加させて頂き、本市の課題に向き合う質問を早速作成する事ができました。地域の皆様にも喜んで頂ける様、先を見据えた計画性ある街づくりを進めていきたいと考えています。もちろん、そこには地域の皆様の声を反映させたものでないといけないという事は言うまでもありません。今後も市政を元氣よく前へ進めて参ります。